

# 首都圏に魅力発信「暖暖松山」創刊

本市の魅力情報を発信力の高い首都圏に発信し、都市イメージの向上を図るため、松山の魅力を詰め込んだ首都圏プロモーション用フリーペーパー「暖暖松山」(12万部)を創刊しました。

本市の温暖な気候とおもてなしの温かな心、そしてありがとうの意味の方言「だんだん」を掛けた「暖暖松山」は、松山の温かさを感じてもらえるよう、企画内容から写真やデザインまでこだわり、これまで伝え切れていなかった本市の魅力を紹介しています。

【配布先】首都圏のオフィス、家庭、店舗への配布や主要駅などに設置

【主な内容】道後温泉に伝わる5つの館内話、松山人に愛され続ける味の紹介など  
※特設サイト <http://www.dandanmatsuyama.com/>で閲覧できます



お問い合わせは、都市ブランド戦略課 ☎948 6707・FAX 934 1804へ

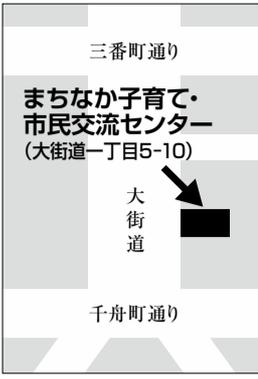
## まちなか子育て・市民交流センター 入所申し込み受け付け

### 空き店舗を活用し子育てしやすいまちに

待機児童解消に向け、利便性の高い商店街の空き店舗を活用した「まちなか子育て・市民交流センター保育室」(3月開所予定)の入所申し込みを受け付けます。



【受け入れ】4月2日(月)～  
【保育時間】月～土曜日の8時30分～17時(開所は7～18時まで)▼18時以降2時間まで延長可  
【対象】市内在住で平成24年4



月1日現在、3歳未満の児童を次のいずれかの理由により家庭で保育ができない保護者▼昼間児童と離れて働いている▼出産前後、病氣、心身障がい者である▼長期にわたり看護に当たっている▼就労を予定している▼災害を受け復旧に当たっている  
【定員】15人  
【料金】認可保育所と同様に前年分の所得税額および市民税額によって決定します。詳しくは

お問い合わせください  
【申し込み】2月15日(水)～3月9日(金)までの月～金曜日8時30分～17時まで、直接、申込書(保育課(市役所別館2階)にあり)と添付書類を保育課へ  
※申込書は児童1人につき1枚必要。発達障がいなどが気になる児童は申し込み時にご相談ください  
【添付書類】家庭の状況により提出書類が異なります。詳しくはお問い合わせください  
【入所決定】実態調査の上、家庭で保育できない程度の高い児童から入所を決定し、3月中旬に通知します  
※定員を超えた場合は、欠員がでるまでお待ちいただくこととなります

市政広報特別番組 「100年続く未来へ」  
～伊佐庭如矢と道後温泉本館物語～  
日本最古の温泉といわれる道後温泉。その道後温泉本館は、明治27年に建築され、今年で118年。今なお国内外の観光客や市民から愛され続ける本館ですが、そこには道後湯之町の初代町長・伊佐庭如矢の尽力があったのです。

市政広報テレビ  
放送局：テレビ愛媛  
毎週月曜日 19時54分～20時  
再放送/毎週金曜日 16時49分～16時53分  
3月の番組(予定)は  
5日 坂の上の雲ミュージアム第6回企画展  
12日 ホームページリニューアル  
19日 まつやま食育フェスタ  
26日 プロ野球公式戦 ヤクルトVS広島  
お問い合わせは、広報課 ☎948-6705・FAX 934-2578へ

120周年を記念して作ったオブジェ  
人々やPTAの皆さんの協力により、全校児童が田植えから稲刈り、そして餅つきを行い、生石校区自慢の地域力で支えられています。

松山の子の声  
台風の日でも地域の人が稲の水の管理など、お世話話になるなど、地域の人に愛され、支えられていると思えました。(6年男子)

## 第6回 企画展テーマ展示「ポーツマス日露講和会議」開催

坂の上の雲ミュージアムでは第6回企画展テーマ展示「日露戦争と明治のジャーナリズム」3「ポーツマス日露講和会議」を2月28日から開催します。

【日時】2月28日(火)～約1年間、休館日(毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、開館時間11時～18時30分)

【内容】ポーツマス講和会議と会議開催に至るまでの外交上の出来事、日本国内の反応などを取り上げ、日本とロシアの全



条約調印時のインク壺

権団がどのように行動し、条約が締結されたのか、条約調印のテーブルなど関連資料を展示します。また日露戦争の終結とその後の世界情勢にまで思いを巡らせます。



ポーツマス講和会議のテーブル

開催準備のため、2月21日(火)～26日(日)は2階部分のみ開館します。また2月26日(日)の「坂の上の雲」リレー朗読会と「さいねやぼうけ」(郷土史などに関する講演会)は休止します。  
第6回企画展内覧会  
第6回企画展の開催に先立ち、内覧会を行います。  
【日時】2月27日(月)13～17時  
【料金】無料  
【申し込み】2月26日(日)(必着)までに、電話またははがき、ファクス、eメールで氏名、電話番号を書いて、〒7900001一番町三丁目20坂の上の雲ミュージアム@saka-museum@city.matsuyama.ehime.jpへ  
お問い合わせは、坂の上の雲ミュージアム ☎915 26000・FAX 915 36000へ

地域で育つ松山っ子  
第18回 生石小学校  
児童数 男488人・女444人・計932人(平成24年1月1日現在)

自慢の地域力で米作り活動  
教室で餅を頬張る子どもたちは、みんなと一緒にお餅を食ったことのできたの味をずっと忘れたいでしょう。餅つきをはじめ、子どもたちのために協力してくださる地域の人々の支えによって、感謝の気持ちを忘れず、地域を愛する優しい子どもたちが育っています。



地域の人に見守られての餅つき大会